

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
310	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）	
Binge drinking in young adults: Data, definitions, and determinants 若年成人の大量飲酒について：データ・定義・決定要因	
執筆者	
Courtney KE, Polich J.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Psychol Bull. 2009 Jan;135(1):142-56.	
キーワード	
大量飲酒、疫学、神経生理学、総説、定義	
要 旨	
<p>アルコールの研究において飲みすぎの問題は重要性を増しつつあるが、この分野では精確な定義に迫るものや実験に根ざしたものに欠ける。この総説は大量飲酒について科学的な文脈から知見を要約したものである。2年間の大学生の年齢の男性において事例が増加し続けるという、疫学研究により大量飲酒に起因する飲酒問題の深刻さが浮き彫りにされた。実験研究からは、大量飲酒家において非大量飲酒家と比較して前頭葉の記憶行動の処理機能に関する神経認知の低下がみられた。これらの知見は実験結果の文脈に基づいた大量飲酒に関する有用な定義づけを提供する目的をもって体系づけた。大量飲酒が神経生理学的・神経認知学的機能を変化させるのかとういことについて理論的な示唆について議論する。</p>	